学習内容報告書 フォーマット

学校名	和歌山県立向陽中学校
授業者	中学校３年学年団、２年学年団

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

ナショナルトラストと環境保護

1-2.　学年

３年生、２年生

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4.　単元の概要

自然体験から、様々なことを学び取り感じ取ることから、環境にかかわろうとする態度を養うことを単元の目標としている

1-5.　単元設定の理由・ねらい

本校は開校１８年目を迎えているが、開校当時より欠かさず中学２年生においてこの地で校外学習を実施している。海の生物とかかわることは、多くの生徒にとってあまりなじみがなく、海の生物とかかわることは、生徒の視野を大きく広げ、多くの視点を持つことになる。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

自然環境に触れることで、そこに息づく生命、環境、人とのかかわりや生物同士のかかわりなど、初めて感じ取れる。けっして教室では学ぶことのできないものが多くある。

1-7.　単元の展開（全３時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	事前学習 天神崎の自然・ナショナルトラスト運動について知る 千里の浜について知る	日本のナショナルトラスト運動先駆けの地である天神崎の歴史について紹介する。また、山と海が共存する地であるからこそ、見られる豊かな生物相と校外学習のポイントについて紹介する
2	校外学習 天神崎での生物観察 ナショナルトラスト先駆けの地の訪問 千里の浜でのウミガメの卵の観察及び清掃活動	安全に生物観察を行っているか観察する 外部連携/天神崎の自然を大切にする会 みなべ町教育委員会
3	事後学習 校外学習において学んだことを、発表し情報交換する。その後、感想文を書く。	グループに分かれて、グループ内で発表し合うことにより、情報交換を行う。その後、感想文を記入する。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　3　時間中の　2　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

自然体験をもとに、環境にかかわろうとする態度を育む

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
天神崎でのフィールドワーク タイドプール 講師との対面 講師から、生物観察の注意事項を聴く	天神崎の自然を大切にする会の、藤伍講師、弓場講師を紹介する。
各グループに分かれ、バケツ、網、トング等で生物を捕獲し観察する。この時、直接触れてよい生物について、動きや体温等を感じるようにする。捕獲した生物について、質問を講師に行う。	生徒の危険な生物は捕獲しないよう、注意する。 生物に触れるよう促し、生物の命を感じ取る。
全員集合し、捕獲した生物について、講師より名前や生態について説明を受ける。 その後、生物を海にもどす。	生物同士の関係性等も説明する。
ナショナルトラスト運動先駆けの地 別荘の開発予定地であった湿地にて、ナショナルトラスト運動について説明を受ける。 湿地も、貴重な生物の生息域であることを実感する。	湿地には、絶滅危惧種であるカスミサンショウウオが生育していることを伝える。
その後、日和山に登り、以前に山火事があったこと、地元の中学生が植林したことなどを知る。 山と海の豊かな自然のつながりも学ぶ。	人々が自然にかかわっていることを実感させる。

ウミガメ産卵の地・千里の浜 　みなべ町に移動し、千里の浜にて、講師からウミガメの保護活動について説明を受ける。 　産卵場所を、タヌキに掘り起こされないよう保護していること、ドローンを使って産卵の確認等を行っていることを知る。 　昨日産卵された場所に移動し、実際に産卵された卵を確認する。（中学３年のみ確認できた） 　ウミガメの産卵の障害にならないよう、清掃活動を行う。	みなべ町教育委員会・前田講師を紹介する。さ 　保護活動の難しさや、継続することの大切さ等を話の中に盛り込んでいただく。 　海の生物に気持ちをはせながら、清掃活動を行う。

3.　今回の活動の自己評価

今回も、海の生物の命を身近に感じることができた。天神崎では、ナマコ、ウミウシ、タコ、ウニ、カニ等、捕獲した生物は多種多様である。これだけの生物種を一度に観察できるのは、和歌山県においても天神崎をおいて他には類を見ない。海の豊かさや、豊かさには山のミネラル分が関係していること、この地をナショナルトラスト運動によって保護してきたからこそ観察できる多様な生物であることなどから、多種多様性が、生徒に多くの刺激を与える。また、千里の浜では、実際に産卵された卵を実際に見ることができた。生徒はこの感動を一生忘れないであろう。 　このプログラムは、単に生物観察ではない。いずれも、人とのかかわりによって保護されているところを実感できることが特徴である。生徒自ら、自分たちの未来に向けてどのように自然にかかわっていくのかについて考え、行動していく姿勢を育むことができていると感じられる。学校として本プログラムは、１８年継続されているものであるが、改めてその重要性を感じた。

4.　今後の課題

清掃活動など、実際に行って目に見える活動は生徒にとって実感として記憶されやすい。自然環境にかかわる行動を育むプログラムのさらなる開発に今後も務めていきたい。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。